

特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権

2017年度 事業報告

特定非営利活動法人
ネットワーク医療と人権

●事業報告

I 事業期間

2017年4月1日－2018年3月31日

II 事業の成果

調査研究事業では、文部科学研究費補助金「何が『被害者』の連帯を可能にするのか－薬害 HIV 問題の日英比較」が初年度としてスタートしたため、研究会・勉強会等において議論に参加したほか、インタビュー調査の対象者を紹介し、聞き取りに参加するなど、積極的に研究協力を行なった。

シンポジウム等の開催事業では、「生命（いのち）を育む思想の今－相模原障害者施設殺傷事件をきっかけに－」を開催した。広報不足や時期的な影響か、学生らの参加は少なかったが、参加者の半数近くが教職員で、今後学生らへの問題提起・波及効果を期待したい。

「薬害エイズ被害者遺族等相談事業」（以下、相談事業、厚生労働省が財団法人友愛福祉財団を通して委託）では、患者家族向けの相談会は、各地区の血友病患者会と協力しながら、計8回8地域にて開催した。2016年度末に開設した薬害エイズ資料館ホームページ「きみの歩いた道（www.osakayakugaihiv.org）」のアップデートを随時行なった。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

1.1 事業名：薬害エイズ被害者活動支援事業

(1)大阪 HIV 薬害訴訟原告団からの委託事業

a.事務作業の補助：「薬害エイズ」被害者団体(大阪 HIV 薬害訴訟原告団)が実施する医療交渉活動を支援するとともに、会議・行事の準備など事務補助を日常的に実施した(ニュース印刷・発送、情報収集、書籍等の購入、経理、資料作成・整理・保管、事務連絡、OA 機器・PC アプリケーション等の技術サポートなど)。

b.医療体制構築への取り組み：

・原告団医療班が開催する医療会議等へ参加し、資料の作成・会議の準備など事務的な業務を担った。その他にもブロック医療協議に向けた準備（各職種へのヒアリングや情報収集、議題作成）作業を実施し、議題の提出・協議への参加を実施した。

(2)薬害エイズ遺族・患者・家族相談事業

別紙「遺族等相談事業 2017年度事業実績報告書」参照。

1.2 事業名：薬害エイズ真相究明事業／調査研究事業

文部科学研究費補助金「何が『被害者』の連帯を可能にするのか－薬害 HIV 問題の日英

比較」(研究代表者：本郷正武、2017-2019年)に対して、研究協力者として研究会・勉強会等に参加し、積極的に意見交換・議論を行なった。その他、インタビュー調査対象者の紹介と聞き取りへの参加を行なった。

1.3 事業名：薬事・血液・医療行政の監視に関する事業

- (1)花井理事が以下の審議会・検討会等に委員として参加した。
- (2)上記審議会資料の整理・精査の他、日程調整等の窓口業務を行なった。
- (3)審議会の経過や状況を把握し、関係者らへの問題提起を行なった他、各種講演・研修会などで情報発信を行なった。
- * 厚生労働省 薬事分科会審議参加規定評価委員会 計1回
- * 厚生労働省 国立研究開発法人審議会 計1回
- * 厚生労働省 国立研究開発法人審議会 高度専門医療研究評価部会 計5回
- * 厚生労働省 厚生科学審議会 臨床研究部会 計7回
- * 厚生労働省 厚生科学審議会 医薬品医療機器制度部会 計1回
- * 厚生労働省 薬害を学び再発を防止するための教育に関する検討会 計1回
- * 厚生労働省 医療用医薬品の偽造品流通防止のための施策のあり方に関する検討会 計5回
- * 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 運営評議会 計1回
- * 日本赤十字社 血液事業審議会 計1回
- * 一般社団法人 日本専門医機構
 - <社員総会> 計2回
 - <理事会> 計11回
 - <財務委員会> 計3回
- * 一般社団法人 日本血液製剤機構 評議委員会 計2回

1.4 事業名：各地区血友病患者会に対するネットワーク支援事業

標記事業を行うにあたり、血友病患者団体(一般社団法人ヘモフィリア友の会全国ネットワーク、以下、全国ネットワーク)や、HIV-NGO(ケアーズ等)の活動を支援した。全国ネットワークの各種会議・打合せ等に会議室を貸与した他、その他「全国ヘモフィリアフォーラム2017」(主催：全国ネットワーク)の賛助団体として協力した。

高槻市の不動産物件「はらいふ」の設備拡充を行なった。

1.5 事業名：医療情報等の収集及び提供事業

(1)MERS ニュースレターによる情報発信

今年度はニュースレターを1回発行した。

●第38号：2017年7月、650部

[主な記事]

- ・MERS イベント開催報告「HIV陽性者の運動は何を獲得したのか？」
- ・2016年度活動報告

(2)ホームページによる情報発信

ホームページの全体的なリニューアルを行ない、掲載記事を随時更新した。

(3)学会等への参加

- ・レギュラトリサイエンス学会：7/3理事会、9/8学術集会、いずれも東京都、一橋

講堂

1.6 事業名：シンポジウム等の開催事業

(1) 主催

- ・生命（いのち）を育む思想の今—相模原障害者施設殺傷事件をきっかけに—
日時：2018年3月11日（日）13：30～16：15
会場：大阪市、ドーンセンター

(2) 協賛、後援等

- ・財団法人いしずえ主催の「第15回みんなのくるま」を協賛した。
日時：2017年9月23日（日）10：30～15：00
会場：奈良県、県営福祉パーク
- ・HIV-NGO プラネットが主催する「第25回エイズキャンドルパレード」を後援した。
日時：2017年5月20日（土）
会場：京都市内
- ・第7回エイズ文化フォーラム in 京都を後援した。
日時：2016年9月30日（土）－10月1日（日）
会場：京都市、同志社大学新町キャンパス尋真館
- ・大阪エイズウィークス2017の協力団体として参加した。
日時：2017年11月18日（土）－12月10日（日）
会場：大阪市内

1.7 事業名：HIV 感染症および血友病並びにそれらに付随する疾患の医療推進に資する事業

- (1) B 型肝炎訴訟支える会世話人会に参加し、訴訟支援の一環として、主に原告団ニュースレターの編集・発行を実施した。
- (2) 大阪府への差別解消の取り組みに提言するため、大阪府人権協会の主催するマイノリティ・プラットフォーム会議へ参加した。
- (3) 日本エイズ学会の代議員総会、第32回日本エイズ学会・学術集会・総会の組織委員、プログラム委員として会議へ参加した。
- (4) 医療者向けの連絡会議において、薬害エイズの歴史的な経緯や現状の課題について発言した。その他「HIV 医療体制 20 周年記念式典」に参加した。

1.8 事業名：薬害防止に資する啓発事業

- (1) 全国薬害被害者団体連絡協議会(薬被連)への協力
 - ・MERS 事務局として薬被連のメーリングリストに参加し、花井氏と薬被連との連絡・調整、情報集約等の役割を担った。
 - ・「薬害根絶デー（8月24日10：00～16：00、東京都千代田区）」で行われる薬被連と文科省・厚労省との交渉に参加し、協議の映像や音声の記録を実施した。
- (2) 大学・関係機関等における特別講義・研修・シンポジウム等への講師派遣など（計14回）
 - ・全国の各大学、高等学校、看護学校等での特別講義や、医療機関、人権啓発協議会が主催する研修や関係機関・団体の主催するシンポジウム・セミナー等へ講師派遣を行なった（計17回）。
 - ・仙台医療センター薬剤部・長期実務実習（年3回）において、レクチャおよびワークシ

ヨップを実施した。

(3) 研修の受け入れ等

- ・ 大阪医療センター医師研修2名、看護研修1名へのレクチャ実施、大阪大学医学部4年次3名の環境医学実習(計6回)及び大阪大学公衆衛生実習(1回)の受け入れを行った。
- ・ 山梨民医連薬学生の受け入れ(1回)を行なった。

IV 社員総会の開催状況

名称：特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権 第16回定時社員総会

日時：2017年5月14日(日) 16:00-17:40

場所：MERS事務所 会議室8F801号室

総社員数：21名

出席社員数：19名(うち委任状出席者6名)、欠席2名

【議案の内容】

- ・ 第1号議案：2016年度事業報告・決算報告
- ・ 第2号議案：理事および監事任期満了に伴う改選
- ・ 第3号議案：2017年度事業計画案と予算案の承認

【審議結果】

- ・ 全ての議案について、いずれも全員異議なく承認可決。

以上